



2021年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年5月13日

上場会社名 株式会社壽屋 上場取引所 東
 コード番号 7809 URL <https://www.kotobukiya.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 一行
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 村岡 幸広 (TEL) 042-522-9810
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第3四半期の業績 (2020年7月1日~2021年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第3四半期	6,802	35.3	768	—	782	—	537	—
2020年6月期第3四半期	5,027	△12.5	△97	—	△119	—	△98	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年6月期第3四半期	200.77		196.30					
2020年6月期第3四半期	△36.63		—					

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
2021年6月期第3四半期	8,346		3,090		37.0	
2020年6月期	7,787		2,789		35.8	

(参考) 自己資本 2021年6月期第3四半期 3,090百万円 2020年6月期 2,789百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2021年6月期	—	0.00	—	—	—
2021年6月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年6月期の業績予想 (2020年7月1日~2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,300	26.1	850	272.1	850	267.3	590	682.6	227.68

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年6月期3Q	2,762,400株	2020年6月期	2,756,400株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2021年6月期3Q	171,067株	2020年6月期	69,393株
------------	----------	----------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年6月期3Q	2,679,122株	2020年6月期3Q	2,699,727株
------------	------------	------------	------------

(注) 期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式（2021年6月期3Q 101,600株、2020年6月期 0株）が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式（2021年6月期3Q 11,124株、2020年6月期3Q 0株）が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、米国・中国間の貿易摩擦に対する先行き懸念や、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の停滞等により、先行きが非常に不透明な状況となっております。

このような環境の下、当社は世界各国の顧客ニーズに合わせた魅力ある新製品開発を行うと共に、自社IP (Intellectual Property: キャラクターなどの知的財産) による製品開発に特に注力してまいりました。

卸売販売につきましては、国内市場では、2021年1月、新規自社IP製品「創彩少女庭園」より「結城まどか」を発売、2021年2月には、自社IP製品「フレームアームズ・ガール」シリーズより「フレームアームズ・ガール マガツキ」を発売、同じく自社IP製品「メガミデバイス」シリーズより、2021年1月に「BULLET KNIGHTS エクスキューショナー」、2021年2月には「BULLET KNIGHTS エクソシスト」を発売し、プラモデルの売上に貢献しました。プラモデル関連製品である「モデリング・サポート・グッズ」等も堅調な推移をみせ、業績を牽引しました。また、TVアニメ「とある科学の超電磁砲T」より「御坂美琴ゲコたまみれver.」を2021年2月に発売し、フィギュアの売上に貢献しました。

海外市場の北米地域では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が依然続くものの、フィギュア製品、プラモデル製品ともに売上は堅調な推移をみせました。

アジア地域では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は限定的にとどまり、プロモーション活動を行うと共に、販売チャネル拡大を推進した結果、フィギュア製品の売上が好調でした。また、国内と同様に「フレームアームズ・ガール」シリーズを中心に「メガミデバイス」などの自社IPのプラモデル製品も好調な結果となりました。

直営店舗による小売販売につきましては、「にじさんじ」関連商品が好調に推移するものの、新型コロナウイルス感染症に起因するインバウンド需要減少を主な要因とした来店客数の大幅な減少により、売上は伸び悩みました。店舗運営におきましては、引き続き新型コロナウイルス感染拡大予防のため、定期的な換気や消毒、レジ前に飛散防止シートの設置など行い、衛生管理やスタッフの健康管理を徹底いたしました。ECサイトによる通信販売におきましては、巣ごもり需要と他社との差別化として直営店舗限定商品や特典の開発を積極的に推進したことにより、売上は好調に推移しました。

新たな取り組みとして、2021年2月にオンラインイベント「コトブキヤONLINE2021[Winter]」を開催し、YouTube生配信でコトブキヤ新作情報を発表いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は6,802,192千円(前年同期比35.3%増)、営業利益は768,439千円(前年同期は97,871千円の営業損失)、経常利益は782,135千円(前年同期は119,924千円の経常損失)、四半期純利益は537,877千円(前年同期は98,894千円の四半期純損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末の総資産は8,346,233千円となり、前事業年度末に比べ558,312千円(7.2%)の増加となりました。

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は4,880,957千円で、前事業年度末に比べ585,184千円(13.6%)増加しております。これは売掛金の減少369,161千円があった一方で、現金及び預金の増加820,111千円、前渡金の増加97,625千円があったことが主な要因であります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は3,465,276千円で、前事業年度末に比べ26,871千円(0.8%)減少しております。これはその他に含まれる金型の増加20,530千円、無形固定資産に含まれるソフトウェアの増加18,166千円があった一方で、建物の減少69,140千円があったことが主な要因であります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は1,879,901千円で、前事業年度末に比べ342,403千円(22.3%)増加しております。これは短期借入金の増加100,000千円、未払法人税等の増加204,617千円が主な要因であります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は3,375,588千円で、前事業年度末に比べ85,376千円(2.5%)減少しております。これは長期借入金の減少97,250千円が主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は3,090,743千円で、前事業年度末に比べ301,285千円(10.8%)増加しております。これは配当金の支払いによる減少40,305千円、株式給付信託(J-ESOP)の導入などによる自己株式の増加による減少199,689千円があった一方で、四半期純利益537,877千円を計上したことにより利益剰余金が増加したことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年6月期通期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2021年2月12日に公表いたしました業績予想を変更しております。詳細は、本日(2021年5月13日)公表しました「業績予想の修正および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお上記予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,561,588	2,381,700
売掛金	1,157,478	788,317
商品及び製品	718,784	637,593
未着品	—	104,337
仕掛品	382,501	427,139
貯蔵品	5,142	4,440
前渡金	219,843	317,468
前払費用	173,552	211,905
その他	76,880	8,054
流動資産合計	4,295,773	4,880,957
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,857,458	1,788,318
土地	708,408	709,398
その他(純額)	373,732	381,207
有形固定資産合計	2,939,599	2,878,924
無形固定資産	74,007	85,403
投資その他の資産	478,540	500,948
固定資産合計	3,492,147	3,465,276
資産合計	7,787,920	8,346,233
負債の部		
流動負債		
買掛金	319,997	296,690
短期借入金	400,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	354,876	337,000
未払法人税等	39,254	243,871
賞与引当金	37,336	94,962
ポイント引当金	47,450	53,395
その他	338,583	353,981
流動負債合計	1,537,498	1,879,901
固定負債		
長期借入金	3,065,876	2,968,626
退職給付引当金	118,939	125,460
役員退職慰労引当金	215,900	221,125
資産除去債務	20,428	20,557
その他	39,819	39,819
固定負債合計	3,460,964	3,375,588
負債合計	4,998,462	5,255,490
純資産の部		
株主資本		
資本金	442,839	444,540
資本剰余金	405,339	407,040
利益剰余金	2,049,130	2,546,702
自己株式	△107,851	△307,540
株主資本合計	2,789,458	3,090,743
純資産合計	2,789,458	3,090,743
負債純資産合計	7,787,920	8,346,233

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
売上高	5,027,584	6,802,192
売上原価	3,256,495	4,094,548
売上総利益	1,771,088	2,707,644
販売費及び一般管理費	1,868,960	1,939,204
営業利益又は営業損失(△)	△97,871	768,439
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	565	420
受取手数料	955	103
為替差益	—	9,305
助成金収入	1,700	18,475
補助金収入	6,242	6,242
その他	3,861	1,989
営業外収益合計	13,324	36,537
営業外費用		
支払利息	30,166	22,321
為替差損	4,365	—
その他	845	519
営業外費用合計	35,377	22,840
経常利益又は経常損失(△)	△119,924	782,135
特別損失		
固定資産売却損	128	—
固定資産除却損	—	32
特別損失合計	128	32
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△120,052	782,103
法人税、住民税及び事業税	832	261,179
法人税等調整額	△21,990	△16,954
法人税等合計	△21,158	244,225
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△98,894	537,877

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間において、「株式給付信託(J-ESOP)」の導入により、当該信託が当社株式101,600株を取得したことに伴い、自己株式が199,542千円増加しております。この結果、当第3四半期会計期間末において自己株式は307,540千円となっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

当第3四半期累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した、新型コロナウイルス感染拡大の影響の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

(株式給付信託(J-ESOP)の導入について)

当社は、2021年2月12日開催の取締役会決議に基づき、2021年2月25日付で信託設定し、2021年4月1日より、従業員のインセンティブプランの一環として、株式給付信託(J-ESOP)の制度を開始しております。

(1) 本制度の概要

本制度は、予め当社が定めた株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした当社の従業員に対し当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭(以下「当社株式等」)を給付する仕組みです。

当社は、従業員に対し個人の貢献度等に応じてポイントを付与し、一定の条件により受給権を取得したときに当該付与ポイントに相当する当社株式等を給付します。従業員に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理するものとします。

本制度の導入により、従業員の株価及び業績向上への関心が高まり、これまで以上に意欲的に業務に取り組むことに寄与することが期待されます。

(2) 会計処理

当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」を適用し、信託の資産及び負債を企業の資産及び負債として貸借対照表に計上する総額法を適用しています。

また、株式給付規程に基づく当社従業員への当社株式給付に備えるため、株式給付債務の見込額に基づき株式給付引当金を計上します。なお、当該制度の開始日が2021年4月1日であるため、当第3四半期会計期間末の株式給付引当金の計上はありません。

(3) 信託に残存する自社の株式

当社は、信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く)により、純資産の部に自己株式として計上しています。当第3四半期会計期間末の当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、それぞれ199,542千円及び101,600株です。

(セグメント情報等)

当社の報告セグメントはホビー関連品製造販売事業のみの単一であるため、記載を省略しております。